

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・事業所の 特徴	H24年5月に開設。1階に小規模、サテライト型特養、地域交流スペース、キッズルームが併設されている。地域の方も気軽に利用できるスペースがあり、フリーカフェを行なっている。地域の中の施設としての特性を活かせるよう、利用者の想い、希望、ご家族や多職種との連携を図りながら、生活が継続できるよう取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能型居宅介護川崎	管理者	中野 晃彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	3人	1人	1人	1人	1人	2人	0	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●「情報シート」を活用し、新たな情報を引き出せるよう状況把握や情報共有を行ない(新たに5個以上は情報を収集できるようにする)、感染対策を徹底した上で個々に合わせたケアに繋げていく。 ●事業所自己評価の改善計画の進捗状況を毎月の事業所ミーティング時に職員間で共有・確認し、計画を進めていく。 ●新型コロナウイルス感染防止対策に対応したリモートでの方法も活用しながら外部研修への参加をできるよう配慮していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ご利用者の新たな情報を5個以上把握すると言う課題については、できた人とできなかった人といった。情報シートや日々の会話の中から得たご利用者の「～したい」の実現を目指し、新型コロナウイルスの状況下でも行えることは取り組めた。 ●毎月のミーティングだけではなく日々の業務の中で話し合い、計画を進めるよう取り組んだ。 ●新型コロナウイルスの影響により外部研修が少なくなったが、希望者は感染状況に応じて外部研修、またはリモートでの研修に参加することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●できていない部分で、「関わりが単調になっている」とあるが関わりもルーティンワークかと思うので、単調であっても、きちんとやる事の方が大切だと思う。 ●各項目ごとにできている点、できていない点を意見として述べ、分析を行い事業所として改善計画に繋がられていると思われる。 ●改善計画に取り組む期間が短いと聞いている。その期間で達成可能な具体的な計画が良いと思う。(計画の前に目標があると良いかもしれない) 	<ul style="list-style-type: none"> ●「情報シート」の活用について、ミーティングでのモニタリング時に見直しを行い、情報の更新・共有し統一したケアに努める。

B. 事業所のしつらえ・環境

●センターに来所された方が入りやすいよう、玄関インターホンの掲示を分かりやすいものにし、積極的に声を掛けるようにする。センター内の環境を見直し、季節感や居心地の良い空間とじて頂けるよう、安全性を考慮した環境作りを行う。

●新型コロナウイルスの感染状況や感染防止対策の状況により、センター内(地域交流スペースやキッズスペース)の活用が困難な状況も想定されるため、状況に合わせたPRポスターの作成・回覧での情報発信を行う。

●中庭のスペースを活用し地域の方の休憩所として活用して頂けるようベンチをもう一つ増やして設置する。

●玄関のインターホンの掲示をわかりやすいものにするにはできなかったが、玄関扉の掲示物がない事で外の様子を確認でき、積極的な声掛けはできた。また、ご利用者や面会に来られたご家族に季節感や居心地の良さを感じていただくため、折り紙や画用紙で季節に応じた飾りつけを行った。

●今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点からセンター内の活用は一切行われなかったため、センター内の活用のPRはできなかった。しかし、川崎新聞の配布回数を例年より増やし、センターでの活動の様子や情報の発信は行えた。

●今年度は中庭スペースにベンチを2つ設置した。1つはセンター内から見える芝生上に、もう1つはセンター内からは見えない位置に設置し気軽に活用できるよう図った。また、気軽に使用できることを知って頂くためにベンチの近くに看板を立てたり、川崎新聞に掲載し情報の発信を行った。

●PRポスター、回覧板に載せた物が資料としてあると評価しやすい。

●中庭のベンチは確認しました。ベンチや中庭に桜の木を植えてはどうか。花見や紅葉などの四季を感じる事がとても大事だと思う。

●玄関チャイムを鳴らしても職員の手がふさがっているからだと思うが、出て来られないことがあった。

●玄関～フロアにかけて季節を感じられる装飾に工夫があり気持ちが明るくなる。ご利用者の作品ですか？

●実際に施設の中を確認できないので、参考資料を活用させてもらった。

●施設内のカフェスペースは川崎地区では意外と知られていないと思う。川崎地区の65歳以上の人口が3割直前です。気軽に立ち寄れる場があればとても良いと思う。

●新型コロナウイルスの感染状況や感染防止対策の状況により、センター内(地域交流スペースやキッズスペース)の活用が難しい為、状況に合わせたPRポスターの作成、回覧での情報発信を継続する。

●中庭のスペースを地域の方、入所者の休憩所として活用して頂けるよう季節に応じた植物を植える(設置する)。

●センター内でも四季を感じてもらえるように玄関、交流スペースの空間を活用し創作品の展示を継続する。

C. 事業所と地域のかかわり

- 新型コロナウイルスの感染状況やサポートセンターへの来館制限に対応した地域啓発活動「まちなね」を行う。(紙上まちなねとして回覧板での情報発信も含めて検討する)
- 回覧板での情報発信の際に、相談しやすい場所となれるよう相談窓口として知っていただけよう分かりやすく記載した文章を入れる。
- コミュニティーセンターにて告知等させて頂く際には、ポスター掲示にてお願いしていく。

- 新型コロナウイルス感染防止の観点から「まちなね」の行うことはできなかった。また、紙上の「まちなね」も行えなかった。
- 毎発行ではないが、相談窓口の問い合わせを記載した文章を入れた。今後も記載の工夫を行い、わかりやすい記載内容に努める。
- 新型コロナウイルスの影響により、地域の方を招く行事が行えなかったため、告知する内容がなく実施に至らなかった。

- 地域の方も事業所の方も、不要な接触は避けていた中で、出来ることを見つけた努力はされていたと思う。
- 行事やイベントは、徐々に開催される中で、感染予防対策を行い、安全に参加できるものは参加できれば良いと思う。
- 職員の対応が親切なので、困りごとの際は、相談しやすいと思う。
- 事業所が地域の方に知られているかという事に対して誰の意見を聞くとわかるのか判断基準が難しい。
- 回覧板をきっかけに相談を受け包括へつなげられて事は、地道な努力の成果だと思う。
- コロナ禍で2年間中止しているが、川崎地区の子供神輿がセンターにも来ている。今後、再開できれば継続して関わりを持って頂きたい。
- 地域との関わり・連携について自己評価に個人差があるが原因はなにか。

- 新型コロナウイルスの感染状況やサポートセンターへの来館制限に対応した地域啓発活動「まちなね」を行う。(紙上まちなねとして回覧板での情報発信も含めて検討する)
- コミュニティーセンターにて告知等させて頂く際には、ポスター掲示にてお願いしていく。

<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●回覧板等で地域の情報収集を行い、コミュニティーセンターでの各種行事や地域での行事には、ご利用者のご希望に応じて新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮し、参加していただく。 ●新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、ご利用者のご希望に応じて、安全を確保した上で、外気浴や家庭菜園・外出ドライブ等の機会を計画・実行していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの感染状況により地域での各種行事にはなかなか参加をすることができなかったが、感染状況が落ち着いた11月にコミュニティーセンターでの文化祭作品展示に希望されたご利用者をお連れすることができた。 ●県内での感染状況を把握し、感染対策を徹底した上で、ドライブやイングリッシュガーデンへ出かける機会を作り、ご利用者様に楽しみを持って頂くよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議資料より、お花見ドライブ、花火大会等、コロナ禍でも工夫されたイベント、行事が計画されていた。 ●キッズスペースの有効利用として、医療的ケア児のDSを事業として取り組んで頂ければと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティーセンターでの各種行事や地域での行事には、ご利用者のご希望に応じて新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮し、参加していただく。 ●新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、ご利用者のご希望に応じて、安全を確保した上で、外気浴や家庭菜園・外出ドライブ等の機会を計画・実行しできる事への工夫を行う。
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も専門職の方に運営推進委員として参加していただき、地域の中での課題等、多方面からの情報収集・情報交換を行い、多職種間で連携を図っていく。 ●運営推進会議で出た提案や意見を、事業所ミーティング時に検討し事業所運営に活かしていく。実施した際には、運営推進会議にて報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍の中で対面での会議を開催する事はできなかったが、書面開催にて限られた意見ではあるが、情報交換、共有をする事ができた。 ●書面開催での意見については、ミーティングにて周知を行った。検討内容についての意見はなし。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度の書面開催での会議では、事例検討はなし。 ●書面での開催ではあるが、意見はしっかりと取り上げている。 ●今後、コロナが落ち着けば対面での会議開催ができると良いと思う。(委員の方々や事業所の声を直接聞けると良い) ●施設独特の取り組みを知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も専門職の方に運営推進委員として参加して頂き、地域の中での課題等、多方面からの情報収集・情報交換を行い、センターとしての役割を果たす。 ●運営推進会議で出た提案や意見を、事業所ミーティング時に検討し事業所運営に活かし、実施した際には、運営推進会議にて報告する。

F. 事業所の
防災・災害対策

- センターの防災訓練については、新型コロナウイルスの状況により、運営推進委員の方に参加していただくことが難しいことも想定されるため、防災訓練の様子を記録に残し、結果を運営推進会議にて報告し、評価頂く。
- 地域の合同行事、合同防災訓練等情報収集し、可能な限り参加していく。
- 災害時には、一時的な福祉避難所として地域の必要な方に活用して頂けることを、センターのPRポスターや回覧に載せ、地域の方へも情報発信していく。

- センターでの防災訓練に参加して頂くことはできなかった為、運営推進会議（書面）にて写真を貼付し報告を行った。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加はできなかった。
- 回覧に載せる事ができなかった。

- スマホに防災訓練の情報を受け確認の電話を頂いた。
- 災害時、一時的な福祉避難所として活用できることはPRされると良いと思う。
- 訓練の計画から現場職員も参加できると良い。
- 職員・利用者の防災訓練は本年度の開催時期はいつか？

- センターの防災訓練について、新型コロナウイルスの状況により、運営推進委員の方に参加して頂くことが難しいことも想定されるため、防災訓練の様子を記録に残し、結果を運営推進会議にて報告し、評価頂く。
- 地域の合同行事、合同防災訓練等情報収集し、可能な限り参加する。
- 災害時には、一時的な福祉避難所として地域の必要な方に活用して頂けることを、センターのPRポスターや回覧に載せ、地域の方へも情報発信する。